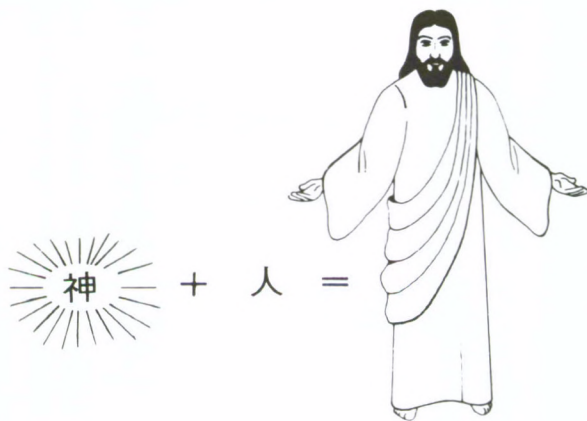


イエス——人の子 4



この課で学ぶこと

受肉

- 処女降誕
- 人間の限界
- 完全な生涯

受肉の目的

- 啓示
- 準備
- 身代り
- 仲介

人の子とはイエスが御自身に対して、好んで用いられた名称のようです。彼はそれを福音書の中で79回用いています。なぜでしょうか。それはまた、何を意味するのでしょうか。それは特に、彼の受肉と人類の代表としての、彼の使命を私たちに語っています。

人の子は、旧約聖書の預言からきたメシヤの称号です。ヘブル語ではベン・アダムと言います。これはアダムの子、人の子、人類の子と訳せます。それはイエスに関して四つの点を強調しています。

1. イエスは真の人間でした。彼の体は神の現れを隠していたただの見せかけではありませんでした。彼は本当の人間の性質をもっていたのです。
2. アダムの子イエスは、アダムとエバに約束された女の末、サタンを打ち破る祖先です。
3. アダムの子イエスは、全人類のものです。彼は一つの国民、時間、場所に限られない、全人類のメシヤです。
4. イエスは人類の真の代表としてのみ遂行しうる使命をもって、地上に来られました。

受 肉

受肉は「肉をもって」を意味する二つの言葉から出ています。神は人間の肉体をもって世に来られました。神の子イエス・キリストは受肉された神——神性が人性につつまれている神です。

処女降誕

どのような行為や奇跡によって、神の子は人の子になられたのでしょうか。アダムの末として生まれるために、イエスは人間の母親をもたなければなりません。しかし、彼には人間の父がおりません。神が彼の父だったのです。イザヤが預言した処女降誕の奇跡によって、神は人間の間に住み、彼らのひとりとなりました。

医者ルカは、事実を調べ上げて、イエスの降誕について、このように記しました。

ルカ1：26—38 御使いガブリエルが、神から遣わされてガリラヤのナザレという町のひとりの処女のところに来た。この処女は、ダビデの家系のヨセフという人のいいなずけで、名をマリヤといった。御使いは、は



いって来ると、マリヤに言った。「おめでとう、恵まれた方。主があなたとともにおられます。」しかし、マリヤはこのことばに、ひどくとまどって、これはいったい何のあいさつかと考虑込んだ。すると御使いが言った。「こわがることはない。マリヤ。あなたは神から恵みを受けたのです。ご覧なさい。あなたはみごもって、男の子を産みます。名をイエスとつけなさい。その子はすぐれた者となり、いと高き方

の子と呼ばれます。また、神である主は彼にその父ダビデの王位をお与えになります。彼はとこしえにヤコブの家を治め、その国は終わることがありません。」

そこで、マリヤは御使いに言った。「どうしてそのようなことになりえましょう。私はまだ男の人を知らないのに。」御使いは答えて言った。「聖霊があなたの上に臨み、いと高き方の力があなたをおおいます。それゆえ、生まれる者は、聖なる者、神の子と呼ばれます。」……マリヤは言った。「ほんとうに、私は主のはしためです。どうぞ、あなたのおことばどおりこの身になりますように。」こうして御使いは彼女から去って行った。

イエスの弟子のひとりマタイはマリヤのいいなずけが彼女の身ごもったことを知ったとき、何が起きたかを語っています。

マタイ 1：19-25 夫のヨセフは正しい人であって、彼女をさらし者にはしたくなかったので、内密に去らせようと決めた。彼がこのことを思い巡らしていたとき、主の使いが夢に現われて言った。「ダビデの子ヨセフ。恐れないうあなたに妻マリヤを迎えなさい。その胎に宿っているものは聖霊によるのです。」



マリヤは男の子を産みます。

その名をイエスとつけなさい。その方こそ、ご自分の民をその罪から救ってくださる方です。」

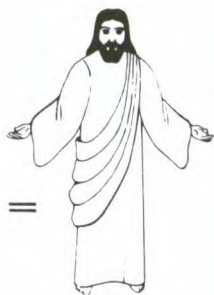
このすべての出来事は、主が預言者を通して言われた事が成就するためであった。「見よ、処女がみごもっている。そして男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。」(訳すと、神は私たちとともにおられる、という意味である。)

ヨセフは眠りからさめ、主の使いに命じられたとおりにして、その妻を迎え入れ、そして、子どもが生まれるまで彼女を知ることがなく、その子どもの名をイエスとつけた。

イエスが人となられたということは、神が人にならなくなってしまったとか、彼が人となったとき、神でなくなってしまうということではありません。御子なる神は変わらず神でした。人の子としては、彼は新しい性質、人間の性質をとられ、それを神性と結合させて、ひとり的人格——真の神、真の人であるイエス・キリストとなられました。そのことを受肉と呼んでいます。



十 人 =



自習のために

1. 人の子という称号は、イエスについて何を語るか。
 - 1) 彼は「アダムの子」、真の人間、人類の代表者である。
 - 2) 彼には人間の父がいた。
 - 3) アダムが彼の父であった。
2. どのようにしてイエスは人となられたか。
 - 1) 彼は処女マリヤから生まれた。神が彼の父であった。
 - 2) 彼には人間の父と人間の母がいた。
 - 3) 彼は神であることをやめて人間となった。
 - 4) 神は神性に人性を加えた。

人間の限界

真の人間と私たちの代表となるために、イエスは御自身を以下に限定されました。

人間の体と人間の性質。

人間の生活条件。

すべての人が持っている霊的資源。

人間の体と性質 イエスは彼の不朽の本質を捨てて、弱さをもった人間の体をまとわれました。彼は病いと苦しみと死に支配されました。彼はしばしば飢えかわき、疲れました。彼は悲しみ、失望、

欲求不満、落胆を知っておられ、彼は人間の喜びと恐れを経験しておられました。

人間の生活条件 宇宙の創造主は、御自身の力を捨てて無力な幼児となられました。あらゆる知恵と知識の源は、学校に行って読み書きを習い、神のことばを学ばれたのでした。彼は大工として働かれ、彼は全ての御使いが彼を礼拝している栄光の御座を捨てて、しもべの立場をとられ、あざけられ、あなどられ、迫害され、他の人に仕え、他の人の犠牲となって命をささげられたのです。

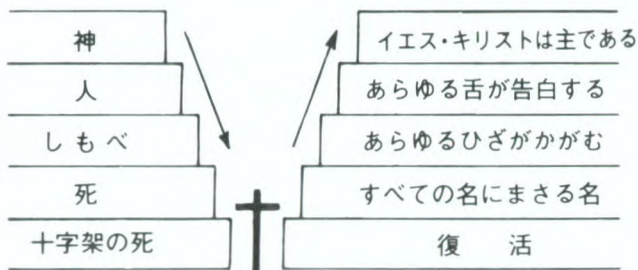
すべての人が持っている靈的資源 イエスは私たち全ての人が持っている靈的力と方法に、御自身を制限することによって、私たちのための神の模範を示されました。彼は祈り、神は彼の祈りに答えられました。彼は力をいただくために神に依り頼みました。彼は神の家に行き、みことばを学ばれました。サタンが彼を罪にいざなったとき、イエスは聖書を引用し、みことばをその情況に応じて適用されました。彼はあらゆる人に彼の奇跡は彼を通して働く神の靈によって行なわれたものであると語られました。また彼の教えは、神が命じられたままに語ったにすぎないと言われました。

パウロはピリピ人への手紙の中で、イエスは自らへり下って私たちの救い主となり、神が彼の栄光をあらわし、今後あらわすことを言っています。

ピリピ2：6-11 キリストは、神の御姿であられる方なのに（神を神としている完全な属性を所有している）、神のあり方を捨てることができないとは考えないで、ご自分を無にして（あらゆる特権と正当な威厳）、仕える者（奴隷）の姿をとり、人間と同じようになられたのです。

キリストは人としての性質をもって現われ自分を卑しくし、死にまで従い、実に十字架の死にまでも従われたのです。

それゆえ（彼がそこまで身をかがめたので）神は、キリストを高く上げて、すべての名にまさる名をお与えになりました。それは、イエスの御名によって、天にあるもの、地にあるもの、地の下にあるもののすべてが、ひざをかがめ、すべての口が（卒直に公に）、「イエス・キリストは主である」と告白して父なる神がほめたたえられるためです。



自習のために

3. 地上生涯における、イエスの人間としての限界を三つあげよ。

1)

2)

3)

4. ピリピ2：6—10を土台にして、図式をつくりなさい。

完全な生涯

イエスは完全な生涯を送られました。彼には欠点も弱さも、何一つありませんでした。彼の敵も彼のうちに誤ちを少しも見つけることができませんでした。イエスは成長してから、ふつうの少年が経験するようなあらゆる誘惑にぶつかりました。しかし彼は、いつも清く、正直で、誠実、しかも神と隣人に対する愛で満たされていました。

イエスは罪を憎み、罪を非難しましたが、罪人を愛しました。彼は罪人の友として知られていました。しかも彼は、罪を犯したことがありませんでした。彼は罪人を造り変えました。彼らは彼を変えなかったのです。

イエスの完全な生涯は、人の子としてつかわされた彼の使命の一部でした。人類の代表として彼は神のあらゆる律法を守られました。彼は神の律法を守る人に約束されたあらゆる祝福——永遠の命と神の家での幸福——に対する権利を獲得されました。彼は私たちの完全な身代りとして、1) 私たちの罪を除き、私たちの罪のために死に、2) 私たちに彼の義（神との正しい関係）と神の律法を守る人に約束されたあらゆる祝福を与える資格をもっておられました。

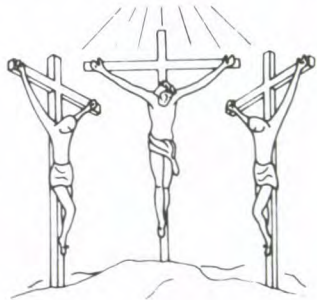
サタンは何とかイエスが罪を犯し、使命をふみはずすことを誘惑しました。しかし、イエスはあらゆる誘惑をしりぞけ、使命を遂行されて、私たちを救われたのです。イエスの善は、悪がないといった否定的なものではなかったのです。それは神の意志に積極的に従う善でした。彼は悪を行なうことを拒まれただけでなく、正しいことを行なうことに献身されていました。彼は受肉した愛であり、その愛を行動をもって現わされました。

イエスが公の働きを始められたのは30歳になってからです。彼は人々に神について教え、どのようにしたら彼らが御国にあずかれるかを教えられました。彼は最大の預言者、教師でした。ただ少し触れるだけで、また一つの命令だけで、彼は無数の病人をいやされました。罪人は彼のところに来て、ゆるしと平安と罪のきよめ、さらに彼の愛に満たされたすばらしい新しい命を受けました。

使徒10：38 それは、ナザレのイエスのことです。神はこの方に聖霊と力を注がれました。このイエスは、神がともにおられたので巡り歩いて良いわざをなし、また悪魔に制せられているすべての者をいやされました。

しかし、イエスの時代の宗教指導者たちは、彼をねたみ、彼を救い主として受け入れることを拒みました。彼らは、彼を不正にさばき、十字架につけてしまいました。(イザヤが預言した通りです。) 彼は普通の犯罪人のように、二人の犯罪人の間に十字架に釘づけられました。そして人々は(イエスはこの人々を救うために来られたのです) 彼が死ぬまで彼をあざけりました。それにもかかわらず、イエスは彼らを愛し祈りました。

ルカ23：34 そのとき、イエスはこう言われた。「父よ。彼らをお赦してください。彼らは、何をしているか自分でわからないのです。」



イエスの完全な生涯は、墓の中で終わりませんでした。父なる神が彼を三日目によみがえらせられたのです。地上で40日以上をすごされてから、彼は天に帰って行かれました。彼は今そのところで、私たちの代表になっておられます。そしてそこから、彼はやがて再びこの地上に来られて、完全な正義と永遠の平和をもって世界を支配されるのです。

自習のために

5. どのようにしてイエスは誘惑に直面されたか。

..... 1) 彼は人間からは、隔絶されていたので、一度も誘惑されることはなかった。

..... 2) 彼は誘惑をしりぞけ、良いわざを行ないつづけた。

..... 3) 彼は誘惑に身をゆだねた。

6. イエスの善は否定的であったか、肯定的、積極的であったか。説明しなさい。

.....

7. 考えて下さい。イエスの完全な品性の最高のテストまた証明は、何だと思いますか。イエスが罪を犯した場合、また逆に完全な生涯を送られた場合、それによってあなたにどのような違いが生じますか。

受肉の目的

なぜ神は、人間となられたのでしょうか。なぜ彼は人間の体を取り、神性に人性を加えられたのでしょうか。なぜ受肉が必要だったのでしょうか。その答えを四つの言葉でまとめることができます。1) 啓示、2) 準備、3) 身代り、4) 仲介。

啓示

イエスは、神がどのようなおかたであるかを示すために、人として生きられたのです。私たちは彼のうちに神の本質が現われているのを見ることができます。イエスを知ることによって、私たちは神を知ることができます。このことについてはさらに学ぶようになりますでしょう。

神の子は完全な人間とはどのような者かを示すために人となりました。私たちはイエスの完全な生涯と品性の中に、人類の模範を見ます。それは神が私たちのために計画された可能性です。彼は正に私たちの模範なのです。彼は私たちの言葉、思想、行動をはかる規準です。彼は私たちに彼が私たちの中に住み、私たちを神の子とするとき、私たちがもつ生活を示しています。

エペソ 4 : 13 ついに、私たちがみな、信仰の一致と神の御子に関する知識の一致とに達し、完全におとなになって、キリストの満ち満ちた身たけにまで達するためです。

イエスの生涯は、彼の使命に対して彼がふさわしい者であることでも証明していました。彼の罪なき生涯は、彼が私たちの身代りとしてふさわしいことを示しています。彼の力、知恵、愛は、彼が私たちの王としてふさわしいことを証明しています。

自習のために

8. 受肉の目的を要約する四つの言葉をあげなさい。

.....

.....

9. イエスの生涯に、何が現われているのを見るか。

- 1) 完全な人間。
- 2) 神の性質。
- 3) 彼の使命に対する資格。
- 4) 私たちに対する神の模範。
- 5) 上記のすべて。
- 6) 1)と3)のみ。

10. 考えて下さい。エペソ 4 : 13を読んで一つ一つ自分にあてはめて下さい。もしイエスが、私たちに対する神の模範であるなら、彼についてもっと知ることは、どんなに大切なことでしょうか。エペソ 4 : 13は、私たちに何を意味しますか。イエスをより良く知ればイエスのようになれるか。

準備

人としてのイエスの生涯は、彼の使命にとって必要な準備でした。彼は経験によって人間性を理解し、私たちの代表、私たちの審判者となる準備をされました。

イエスは私たちの祭司となるために、人とならねばなりませんでした。彼は私たちの弱さを持っておられました。彼は私たちの問題をわかって下さいます。彼は御自分の苦しみによって従順を学ばれました。イエスは地上にいるとき、弟子たちのために祈られました。そして今でも、私たちの必要を良く知っておられて、彼は天において私たちのために祈って下さいます。

ヘブル2：17, 18　　そういうわけで、神のことについて、あわれみ深い、忠実な大祭司となるため、主はすべての点で兄弟たちと同じようにならなければなりませんでした。それは罪のために、なだめがなされるためなのです。主は、ご自身が試みを受けて苦しまれたので、試みられている者たちを助けることがおできになるのです。

ヘブル4：14—16　　さて、私たちのためには、もろもろの天を通られた偉大な大祭司である神の子イエスがおられるのですから、私たちの信仰の告白を堅く保とうではありませんか。私たちの大祭司は、私たちの弱さに同情できない方ではありません。罪は犯されませんでした。すべての点で、私たちと同じように、試みに会われたのです。ですから、私たちは、あわれみを受け、また恵みをいただいて、おりにかなった助けを受けるために大胆に恵みの御座に近づこうではありませんか。

イエスの人としての経験は、彼に人を支配する準備をさせました。アダムの人類の完全な代表である人の子は、支配者となられるのです。彼は完全な王です。それは彼が、私たちの必要をごぞんじだからです。彼は私たちを理解しておられます。そして彼は、私たちのために死なれたので、私たちの人生を治める権利を持っておられます。今や彼は、彼を受け入れた者の生涯の王です。やがて彼は、彼がそのために死なれた世界を支配するようになられるでしょう。

ダニエル 7 : 13, 14 私がまた、夜の幻を見ていると、見よ、人の子のような方が天の雲に乗って来られ、年を経た方のもとに進みその前に導かれた。この方に、主権と光栄と国が与えられ、諸民、諸国、諸国語の者たちがことごとく、彼に仕えることになった。その主権は永遠の主権で、過ぎ去ることがなく、その国は滅びることがない。

自習のために

11. あなたがイエスについて知っていることから、人としての彼の生涯が、あなたの祭司と王となる準備を彼にさせたと思いますか。

それはどのようにしてでしょう。

身代り

イエスは死ぬために生まれられたのです。全人類は罪を犯し、永遠の死に定められています。ひとりのこらずです。救われる唯一の道は、神御自身が私たちの刑罰を受けられることです。しかし、神はそのままでは死ぬことができません。そこで、彼は人となられ、私たちの身代りに死んで私たちを罪から救われたのです。

イエスのされたことは、十字架で私たちの身代りとなった以上のことでした。彼は死人からよみがえり、彼を受け入れた全ての人に永遠の御国での場所を与えられるからです。彼は私たちを御自身に結びつけ、私たちが神の子としての彼の権利にあずかれるようにして下さいます。

ヘブル2：9～11, 13～15 ただ、御使いよりも、しばらくの間、低くされた方であるイエスのことは見ています。イエスは、死の苦しみのゆえに、栄光と誉れの冠をお受けになりました。その死は、神の恵みによって、すべての人のために味わわれたものです。神が多くの子たちを栄光に導くのに、彼らの救いの創始者を、多くの苦しみを通して全うされたということは、万物の存在の目的であり、また原因でもある方として、ふさわしいことであったのです。聖とする方も、聖とされる者たちも、すべて元は一つです。

またさらに、「わたしは信頼する。」またさらに、「見よ、わたしと、神がわたしに賜った子たちは。」と言われます。そこで子たちはみな血と肉とを持っているので、主もまた

同じように、これらのものをお持ちになりました。それは、その死によって、悪魔という、死の力を持つ者を滅ぼし、一生涯死の恐怖につながれて奴隷となっていた人々を解放してくださるためでした。

自習のために

12. ヘブル人への手紙2章から受肉とその目的をあげて下さい。

1) 受肉：しばらくの間彼は.....

.....

2) 目的：神の恵みによって彼が.....

.....

それは.....

.....ためである。

3) 受肉：イエス御自身.....

.....

.....

4) 目的：そうされたのは.....

.....

のためであり、また.....

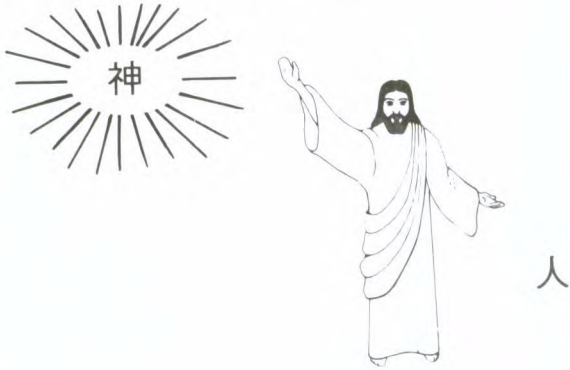
.....

.....

以上の言葉の中で、あなたを含む言葉（人、子たちなど.....）に、下線を引きなさい。

仲介

イエスは神と人とを一つにするために人となりました。罪は聖なる神と汚れた反逆的人間との間の、越えがたいはざまを開かれました。しかし神の愛はその溝に橋をかける道を見だし、人間を御自身にもどされました。イエスは新しい契約、神と人間との協定の仲介者となられるために来られたのでした。



第1テモテ2：5，6 神は唯一です。また、神と人との間の仲介者も唯一であって、それは人としてのキリスト・イエスです。キリストは、すべての人の贖いの代価として、ご自身をお与えになりました。

新約時代においては、仲介者は法廷で任命されて、破産した人の代理となり、その処理一切をひきうけました。仲介者は全ての債権者に完全に支払うことを見とどける責任がありました。万一破産した人が負債を十分払えない場合は、仲介者自身が支払いました。

それは何と見事にイエスのことを描いていることでしょう。彼は神の前における私たちの仲介者です。彼の死は、私たちの罪の負債を一切カバーし、私たちは彼にあって、私たちと神とを分離していた罪と断罪から自由になれるのです。彼の十字架は溝に橋をかけました。彼は私たちに新しい性質、彼の性質を与え、私たちを神の子にして下さったのです。私たちの人間性をとることによって、イエスは私たちのところまできて、私たちをさらにまされた世界に引き上げて下さいます。神の子は、人の子になりました。私たちが神の子どもになるためにです。

ガラテヤ 4：4，5 神はご自分の御子を遣わし、この方を、女から生まれた者、また律法の下にある者となさいました。これは律法の下にある者を贖い出すため、その結果私たちが子としての身分を受けるようになるためです。

第1ペテロ 3：18 キリストも一度罪のために死なれました。正しい方が悪い人々の身代わりとなったのです。それは、肉においては死に渡され、霊においては生かされて、私たちを神のみもとに導くためでした。

新約聖書を通じて、私たちに対する神の目的について記した箇所が見いだされ、それによってなぜイエスが人の子とされたかを理解できます。イエスはそのことを次のように要約しました。

ルカ 19：10 人の子は、失われた人を捜して救うために来たのです。

自習のために

13. ルカ19：10を暗唱して下さい。
14. 左右等しいものを線で結びなさい。
- | | |
|--------------|--------|
| イ. 神が人となる | 1. 仲介 |
| ロ. 身代りとなって死ぬ | 2. 啓示 |
| ハ. 神につれ来たる | 3. 受肉 |
| ニ. 人間の模範 | 4. 準備 |
| ホ. 問題を持つ | 5. 身代り |
15. 仲介のたとえを説明して下さい。
16. 考えて下さい。人の子という称号は、今のあなたに以前よりももっと大切な意味がありますか。それによってイエスを今まで以上に知るようになりましたか。彼はあなたを神に導きましたか。彼の受肉を感謝して下さい。あなたの必要を彼のところにもっていきなさい。彼は神の前におけるあなたの代表です。
17. あなたの答えを採点し、第4課の返信用受講生記録に記入して下さい。

第4課 正解

この課の項目は26項目あります。(あなたの個人的答えと暗唱からの図示を含む)。24から26の正解は優秀、20から23は優、14から19までは良と採点して下さい。14以下の正解は、もう一度4課を読み直して下さい。

1. 1) 彼は〈アダムの子〉、真の人間、人類の代表者である。
2. 1) 彼は処女マリヤから生まれた。神が彼の父であった。
4) 彼は神性に人性を加えた。
3. 1) 人間の体と人間の性質。
2) 人間の生活条件。
3) すべての人が持っている霊的資源。
4. ページを参照のこと。
5. 2) 彼は誘惑をしりぞけ、良いわざを行ないつづけた。
6. 両者。彼は悪を行なうことを拒み(否定的)、正しいことを行なわれた(肯定的)。
8. 啓示、準備、身代り、仲介。
9. 3) 上記のすべて。
11. あなたの答え。
12. 1) 御使いよりも低くせられた。
2) 全ての人のために死ぬ。
多くの子たちを彼の栄光にあずからせる。
3) 彼らと同じようになり、彼らの人間性にあずかる。
4) 彼の死によって悪魔を滅ぼし、死の恐怖のために一生涯奴隷となっていた人たちを自由にする。
14. イ——3 ロ——5 ハ——1 ニ——2 ホ——4

正解数 採点

第4課の返信用受講生記録に記入して下さい。